



59

ものべがわりよくちこうえん 物部川緑地公園

高知県土佐山田町小田島、神母ノ木

土佐山田町は物部川が高知平野に流れ出す地点に位置し、野中兼山の土木事業により、発展の基礎ができた。「やっこねぎ」や「プロッコリー」の航空輸送を行い、施設園芸が盛んであるとともに、自動車サーキット場の誘致を図るなど、観光レジャー化も目指している。〔文化・観光〕龍河洞、雨喜ヶ峰森林公園、八王寺公園、四国のみち

物部川は高知県の東部を南流し、土佐湾に注ぐ一級河川である。その河口より九キロメートルの上流に野中兼山が二八年の歳月を費し、一六六三年に構築した農業用取水のための山田堰があった。その規模は長さ一八〇間、幅六間、高さ五尺といわれ、香長平野二〇〇〇ヘクタールをうるおしてきた。毎年耕作前の三月に水止めを行い、補修及び川ざらえを目的とした田役を地区総出で行うこの行事は、春の香長平野の風物詩となっていた。しかし長年月を経るにつれ老朽化が著しく、他の堰とあわせ八〇〇メートル上流に山田合同堰として改築された。三四〇年に及ぶ取水機能は幕を閉じて、文化財として、また町のシンボルとしての価値は失われていない。そこで高水敷の部分を保存し、スポーツ施設などもあわせ河川公園として整備した。

地元住民はもとより近隣の町の人にまで憩いの場として親しまれている。

